

ご支援に対するお礼、およびご報告

2019年9月に発生しました台風第15号の被災にあたり、日本精神保健福祉士協会様が実施された募金活動で、全国の皆様より千葉県に対し、過分なご厚情を賜りましたこと、また都道府県支部の皆様よりさまざまご助言をいただきましたこと、衷心より御礼申し上げます。

この台風では、全県を襲った長期の停電、県南部を中心とした建物損壊、川の氾濫による浸水被害と、さまざまな災害が複合発生し、あらためて自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。また、日常生活のなかで、電力なしには生活できない現実を認識した次第です。

これらの災害に対し千葉県では、県社会福祉協議会の設置したボランティアセンターにて、日ごろ連携しておりますソーシャルワーカー三団体（千葉県社会福祉士会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、当協会）連絡協議会で、支援活動のコーディネートや、被災地一斉調査等、専門性を生かした活動を展開して参りました。昨今、それらがようやく現局化の様相を呈しております。

物理的復興は徐々にではありますが進む一方、心の問題・生活の問題は遷延化している現実を目の当たりにしております。被災地区の構成員を中心に、継続的にかかわりが続いております。

皆様から賜ったご厚意は、これまで支援活動に携わった構成員、これからも継続して活動する構成員の活動に使わせていただく所存であります。

その後発生した、2019年第19号台風で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、広範囲に被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。各地で支援活動に従事されている皆様方と、今後も情報交換等させていただきたく思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2020年1月15日

千葉県支部
支部長 山崎 久之